

1. 単元名 「知って伝える！福住校区の自然守り隊！」

2. 単元の目標

- ① 福住校区における探検活動を通して、福住校区に生息している生き物や植物、それらの特徴や正しい飼育方法、自分たちのとの繋がりについて知ることができる。 (知識および技能)
- ② 講師の話や道徳の教材文、自分の自然との関わりを見つめなおすことから課題を見出し、福住校区の自然を守るための方策を考えたり、考えたことについて福住校区の自然マップを通して伝えたりすることができる。 (思考力・判断力・表現力等)
- ③ 福住校区の自然を守りたいという目的意識をもち、意欲的に他学年の児童や地域の方と関わったり、福住校区の自然を調べて学んだことをマップにまとめたりすることができる。 (主体的に学習に取り組む態度)

3. 単元について

(1) 教材観

本単元では、道徳「ひとふみ10年」、大阪動植物海洋専門学校・学術博士、佐藤孝則先生による「生き物講演会」、「福住校区の自然を守るためのマップ作り」を教材として取り上げる。

道徳の教材「ひとふみ10年」は、内容項目D「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」の中の「自然愛護」に位置づけられる教材である。5, 6年生における目標としては、「自然の尊さを知り、自然環境を大切にすること。」と示されている。(学習指導要領解説・道徳編) 教材文の主人公が、知らず知らずのうちに自然を傷つけてしまう姿を見て、正しい知識がないと自然を傷つけてしまうことがあるということに気付くことができるのではないかと考える。

佐藤孝則先生の「生き物講演会」では、「福住校区に生息する絶滅寸前種、ヤマトサンショウウオの生態」「身近な自然環境に関心をもち、持続可能な社会を実現するために自分たちにできること」というテーマでご講演いただく。実際に専門家から話を聞くことで、今回の活動への意欲が一層高まるのではないかと考える。

「福住校区の自然を守るためのマップ作り」では、全校児童に見てもらおうことを目的とし、福住校区に生息する動植物とその特性を校区地図にまとめる。このことを通して、福住校区に生息する動植物に対する確かな知識を主体的に得ようとするとともに、他学年の児童の心に届くような表現の工夫をするなど、より相手意識をもって活動ができるのではないかと考える。

(2) 児童観

本学級は、生き物が好きな児童が多く、8人中4人と半の児童が「生物部」に所属するほどである。日常的に生き物を捕獲し、教室で飼育・観察し、生き物に対して愛着を持って接している様子が見受けられる。しかし、最後まで責任をもって世話をすることができず、死なせてしまうこともある。このようなことから、自分が関わっている動植物について理解を深め、それらとの

関わりについて自分の行動を見つめなおす機会にしてほしいと考えている。

(3) 指導観

本単元の指導に当たっては、まず、講師、佐藤孝則先生（大阪動植物海洋専門学校・学術博士）のお話を聞くところからスタートする。専門家の先生からお話を聞くことで、普段何気なく接している福住校区の自然の価値を再確認できるのではないかと考える。また、佐藤先生のお話の中にある「生態系サービス」という言葉に触れ、福住校区の自然から自分たちがどのようなサービスを受けているのかも考えさせたい。そして、自分たちの自然との関わりを振り返らせることにより、課題をつかむきっかけとしたい。また、道徳「ひとふみ10年」の学習も合わせて、無知であることが自然を傷つけてしまうということにも気付かせたい。

次に、実際に校外に出て、福住校区の自然について調べる。無知であることが自然を傷つけてしまうということに気付いた児童からは、福住校区の自然についてもっと調べたいという思いが生まれるだろう。探索に行く際は、佐藤先生にも同行していただき、探索のルールやマナーについてもしっかりと学習したい。また、ただ捕まえて楽しむのではなく、「福住校区の自然について知ること」を一番の目的として、探索できるようにする。

探索をした後は、全校児童に見てもらうことを想定して、福住の自然マップを作成する。福住小学校では、年間を通じて自然の観察に校外へ出ることが多いからだ。資料や絵なども使いながら、誰が見てもわかりやすく、「自然を守っていこう！」という思いをもてるような地図になるよう、意識して指導したい。出来上がった地図は、全校児童が見ることができる場所に掲示し、校外で自然の観察を行う際に、活用してもらえるように呼びかける。

最後に、これらの活動を通して、福住校区の環境保全に貢献できたということ振り返らせ、今回の活動にとどまらず、これからも継続して学び続けることで、福住校区の自然、ひいては地球の環境を守ることにつながるということを意識させ、これからの活動にもつなげていくようにする。

(4) ESD との関連

・本学習で働かせる ESD の視点（見方・考え方）

- A 多様性…福住校区には多様な動植物が共存しているということ。また、多様な動植物が生息できる多様な環境があるということ。
- F 責任性…福住校区を探検したり、マップを作ったりするには、互いの連携・協力が不可欠だということ。また、動植物の生命に責任をもち、観察・飼育することが大切であるということ。

・本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

・他者と協力する態度

友達と協力して動植物について調べたり、アイデアを出し合って「自然マップ」を作ったりすることができる。

・コミュニケーションを行う力

友達や教師、地域の方や講師との意見交流を通して自分の考えを深め、自分の周りの自然を守るためにできることを考えることができる。

・批判的に考える力

自分たちの動植物との関わりを振り返り、課題を見つけ、改善方法を考えることができる。

・本学習で変容を促す ESD の価値観

- ・自然環境、生態系の保全を重視する（生物多様性の重視）
 周りの自然について知り、正しい知識をもつことが自然環境、生態系を保全する上で重要な事である。
- ・幸福感に敏感になる。幸福感を重視する。
 自分たちだけが幸せ（楽しい）ことが、将来的にも幸せ（楽しい）とは限らない。

・達成が期待される SDG s

- 1 5 陸上資源・陸の豊かさ
- 1 1 まちづくり

4. 単元の評価規準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力・判断力・表現力等	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
<p>①福住校区に生息している生き物や植物、それらの特徴や正しい飼育方法、自分たちのとの繋がりについて理解している。</p> <p>②学んだり、調べたりして獲得した知識を、言葉や図、絵などを用いてそれらに関係づけながらまとめる技能を身に付けている。</p>	<p>①資料から課題を見出し、福住校区の自然を守るためにできることを考えている。</p> <p>②福住校区の自然について学んだことや考えたことを地図にまとめ、表現している。</p>	<p>①福住校区の自然を守りたいという目的意識をもち、意欲的に他者と関わろうとしている。</p> <p>②福住校区の探検を通して、地域の自然について知り、自分にできることを模索しようとしている。</p> <p>③福住校区の自然について学んだことを、他学年の児童に納得してもらえるように発信しようとしている。</p>

5. 単元の指導計画（全18時間）

学習活動	学習への支援	評価・備考
<p>1, 講師の話（ヤマトサンショウウオ）や道徳の教材文（ひとふみ10年）から課題をつかもう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 知らず知らずのうちに自然を傷つけていることがある。 ・ 自然を守るには正しい知識が大切だ。 ・ いつもつかまえている生き物も実は珍しいものだった。 <p style="text-align: right;">(3時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の動植物に詳しい専門家（大阪動植物海洋専門学校・学術博士：佐藤孝則先生）をゲストティーチャーとして招聘する。 ・ 写真や映像、実物などの教材を活用する。（ヤマトサンショウウオ・高山植物等の写真） ・ 自分たちのこれまでの活動について振り返らせ、問題意識をもてるようにする。 ・ 「生態系サービス」という言葉に着目し、自然から受けている恩恵に注目する。 	<p>イ① (思判表)</p>
<p>2, 福住校区にいる動植物を調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 川の動植物 ・ 田周辺の動植物 ・ 森の動植物 <p style="text-align: right;">(6時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観察や作業に適した服装や持ち物について指導する。 ・ 危険な動植物（スズメバチ、ウルシなど）に注意する。 ・ ワークシートを用意し、見つけた動植物について絵や写真等で簡単にまとめる。 ・ 講師の先生にも同行していただき、正しい探索のマナーについても学ぶ。 	<p>ウ① ウ② (主体的)</p>
<p>3, 福住校区で見つけた動植物について詳しく知ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 探検に行き見つけた動植物のことを詳しく調べよう。 <p style="text-align: right;">(2時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図鑑やPCを使って生態や飼育の仕方等について調べる。 ・ 調べたて分かったことはロイロノートにまとめ、お互いに共有する。 ・ 動植物について正しい知識をつけることが、それらの自然を守ることに繋がるという意識を持たせる。 	<p>ア① (知技) ウ② (主体的)</p>
<p>4, 福住校区で見つけた動植物をみんなに知らせよう。（「福住校区の自然マップ」を作ろう。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 探検に行く時に、自然を壊さないように注意することも伝えよう。 ・ 生き物の飼育の仕方も伝えよう。 ・ 水槽に紹介カードを掲示しよう。 <p style="text-align: right;">(6時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地図を見た人が、動植物や自然を大切にしようという思いがもてることをめあてとし、動植物の価値や探検時の注意点などを中心に書く。 ・ いつ、誰に、どのような目的で見てもらおうのかをいうことをはっきりとさせ、目的意識をもって書けるようにする。 	<p>イ② (思判表) ア② (知技) ウ③ (主体的)</p>
<p>5, 活動を振り返ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校みんなが、生き物探しをするときに活用してくれたらいいな。 <p style="text-align: right;">(1時間)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今回の活動だけで終わらないよう、これからの生活にも目を向けられるようにする。 	